

2021年度 日本工学院専門学校											
音響芸術科											
ProTools 2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	60	単位	4
担当教員	吉田 光宏			実務 経験	有	職種	ミュージッククリエイター/AVID認定トレーナー				
授業概要											
<p>ProToolsの基本的な操作と、概念をマスターし、音楽関連の現場でエンジニアとして働く者として常識となる技術を習得する。音楽録音は磁気テープ録音の始まりからマルチトラックレコーディングへと進化しライブでは実現不可能なサウンドも形成できるようになった。その流れを組むProToolsは磁気テープ録音の制約を超えた新しいサウンド作成としてもかかせない物であり、コンピュータを楽器として、レコーダーとして使用するため、アニメーションをはじめとする映像分野との運動も高くなっている。ProToolsを通じてレコーディングエンジニア、MAエンジニア、ラジオスタッフのあらゆる場面で活躍できることを目的とする。</p>											
到達目標											
<p>Avid ProTools110の取得を必修とする(このためには101を先に取得している必要がある)。この資格はPro Tools の設計・製造・販売元Avid社認定のワールドワイドな資格である。日本のみならず世界中のプロダクション等にPRできる強みがある。Pro Toolsの高い専門性を生かし、音楽、映像、放送など幅広い録音現場におけるエンジニアとして活躍できる機械を増やすためにも資格を取得する。資格試験の実施には日本国内では本校のような学校が環境、講師ともに最新の技術を導入している必要があり、毎年Avidに認定される必要がある。その貴重な機会を活かす。</p>											
授業方法											
<p>Avid認定のProTools110テキストを使用する。こちらにはProTools全般の操作と様々な用語が解説されている。一見、難解な専門用語も多くあるため、経験ある講師によって具体的な操作を用いながら解説される。講義教室での解説にはProToolsの画面を表示しながら、実際に現場で使われた音素材を参考にどのように変化していくか、聞きながら学ぶ事になる。音で聞きながら目でも確認することを心がけて参加する。</p>											
成績評価方法											
レポート	80%	授業内容の理解度を確認するために実施する。									
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。									
履修上の注意											
<p>この授業では、音を扱うプロとしてノイズと捉えられる授業中の私語や受講態度などには厳しく対処する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>											
教科書教材											
Avid認定のProTools110テキスト											
回数	授業計画										
第1回	MIDIについて：MIDIのレコーディングとオーディオのレコーディングを理解										
第2回	バーチャル・インストゥルメント：バーチャル・インストゥルメントインスを使って音楽を作成できる										
第3回	X-Pand2：X-Pand2を使用して音を作ることができる										
第4回	MIDIのレコーディング：MIDIによる音符のステップ入力やリアルタイム入力、クオンタイズの適用ができる										
第5回	リアルタイムプロパティ：MIDIリアルタイムプロパティの使用できる										
第6回	クリップグループとクリップループ：MIDIクリップとオーディオクリップへのクリップループとクリップグループ										

2021年度 日本工学院専門学校	
音響芸術科	
ProTools 2	
第7回	エラスティックオーディオ機能1 : エラスティック機能を使用し、テンポやグルーブ感をそろえることができる
第8回	エラスティックオーディオ機能2 : Beat Detectiveとエラスティックオーディオ機能を使用しグルーブ感や調合を編集できる
第9回	エラスティックオーディオ機能3 : エラスティックオーディオ機能とMIDIを同時に使用した場合のシグナルフローを理解する
第10回	フェードの適用 : フェードイン、フェードアウト、クロスフェード、バッチフェードを使いこなす
第11回	オートメーション機能 : オートメーションの書き込みと適用できる
第12回	エフェクターの処理 : エフェクターによる色々な処理の方法がわかる
第13回	バスの使い方 : バスを使った処理、ディスクにバウンス機能やトラックにバウンス等ができる
第14回	プロツールの様々な設定 : I/O設定、プレイバックエンジン等、プロツールの様々な設定を理解する
第15回	ProTools 110試験について : 試験の概要、対策